

第5節 秘書広報課

〔総括概要〕

秘書広報課の主な分掌事務は、秘書関係及び広報広聴関係業務である。

秘書関係業務については、市長のトップマネジメントが十分発揮できるよう秘書機能の充実に努めたほか、市政功労者等の表彰や市内各団体等との円滑な交流推進を図るための新春賀詞交歓会などを、関係団体等の協力の下実施した。

広報業務については、市民への市政情報の提供及び市外に向けての情報発信を目的として、広報紙の発行、公式ホームページ等の活用、報道機関への情報提供等、積極的な広報活動を展開した。

広報紙については、見やすく、親しみやすいA3判で、毎月1回発行した。また、ホームページに加えてSNS（ソーシャルネットワークサービス）を活用した広報活動として、公式ツイッター及び公式フェイスブックによる広報を行った。

広聴業務については、まちづくり懇談会ふれあいトーク、市民討議会、市長へのアイデア直通便などを実施し、市政に関する意見・提案を広く求めた。

栃木市マスコットキャラクター制定業務については、11名の委員で構成する選定委員会を設置し、全国にデザインを公募した結果1,675点の作品の応募があった。4回の選定委員会を行い、また市内及び旧岩舟町の小中学生にアンケート調査を行ったうえで、栃木市マスコットキャラクター「とち介」を決定した。

秘書担当

1 市長のホームページの管理

- ・市長のメッセージの更新 年4回（春夏秋冬）
- ・市長の主な動きの更新 月1回（各月ごとにその翌月に写真で紹介）
- ・市長の交際費支出状況の更新 月1回（各月ごとにその翌月1日頃）

2 下野新聞社への市長日程の提供

毎週水曜日に次週の市長日程の抜粋を報告した。

3 表彰

市政功労者、徳行者及び市民栄誉賞受賞者の表彰式を開催した。

- ・実施日 11月20日（水）
- ・場 所 市役所 正庁
- ・市政功労者表彰（敬称略）

表彰条例第3条第1項による表彰（各種委員等における永年在職者）

母子保健推進員	在職20年	7か月	加藤久江
学校医	在職20年	7か月	小山照夫
学校歯科医	在職20年	7か月	早乙女雅彦

学校医	在職 20年 7か月	野田 雅行
学校歯科医	在職 20年 7か月	林 隆弘
学校医	在職 20年 7か月	船越 由美子
学校歯科医	在職 20年 7か月	増山 久一
少年補導員	在職 20年 7か月	板垣 彰
少年補導員	在職 20年 7か月	岸 悦子
少年補導員	在職 20年 7か月	斎藤 道人
スポーツ推進委員	在職 20年 7か月	荒川 咲子
スポーツ推進委員	在職 20年 7か月	熊倉 由紀子
農業委員	在職 11年	影山 和夫
自治会長	在職 1年	
農業委員	在職 12年 4か月	中野 林藏

・徳行者表彰（敬称略）

表彰条例第4条第1項による表彰

徳行	飯塚 万里
徳行	石川 常四郎
徳行	大杉 清一
徳行	長谷川 恵子
徳行	深澤 富子

・市民栄誉賞表彰（敬称略）

表彰条例第5条による表彰

市民栄誉賞（全国高校総体陸上競技男子走り高跳び優勝）

中島 大輔

4 新春賀詞交歓会

・実施日 1月7日（火）

・場所 サンプラザ

・主催団体 市・市議会・栃木商工会議所・大平町商工会・藤岡町商工会
都賀町商工会・西方商工会・下野農業協同組合・上都賀農業協同組合
栃木市自治会連絡協議会

・参加者数 388人

〔 栃木市181人、市議会32人、商工会議所86人、
商工会28人（大平12人、藤岡7人、都賀6人、西方3人）
J A しもつけ47人、J A かみつが2人、自治会関係12人 〕

広報広聴担当

1 広報関係

(1) 広報紙等による広報

市政全般について掲載した広報紙を発行し、市政のPRに努めた。

広報とちぎ

- ・発行部数 5月号～4月号 毎月1回 47,500部
- ・仕様 A3判2つ折り

号	ページ数		号	ページ数		号	ページ数	
	4色	2色		4色	2色		4色	2色
37(5月号)	4	12	41(9月号)	4	12	45(1月号)	4	12
38(6月号)	4	12	42(10月号)	4	12	46(2月号)	4	12
39(7月号)	4	12	43(11月号)	4	12	47(3月号)	4	12
40(8月号)	4	12	44(12月号)	4	12	48(4月号)	4	12

(2) 視聴覚障がい者等への広報

ア 広報とちぎ点字版

- ・発行回数 定期6回（2か月に1回）
- ・発行部数 29部
- ・仕様 B5判点字用紙（約30ページ）

イ 声の広報とちぎ

朗読ボランティアあかり及び朗読グループいずみの協力を得て発行

- ・発行回数 毎月1回 年間12回
- ・発行時期 広報とちぎ発行日～数日後（カセット・CD）

(3) ホームページによる広報

高度情報化社会において有効な通信手段であるインターネットを利用して、公式ホームページを開設し、市政情報やイベント、観光案内、生活ガイド等の情報を積極的に市内外に発信し、広報活動のより一層の充実に努めた。

- ・アクセス件数（ページビュー数）3,850,582件

(4) SNSを活用した広報

SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）による広報を行った。

市ホームページのトップページに公式ツイッターと公式フェイスブックのバナーを設け、簡単にアクセスできるようにした。

投稿内容は、行政情報、観光情報、災害情報（気象警報発令時に注意喚起）等。

- ・投稿数 フェイスブック479件 ツイッター462件

(5) テレビ・ラジオ等による広報

ア CATVコミュニティチャンネル

広報とちぎの内容や市政情報等について、ケーブルテレビ(株)に番組制作を委託し、同社のコミュニティチャンネル（デジタル111チャンネル）で放送した。

主な番組

- ・自治体広報番組「栃木市からこんにちは」
20分番組で、3月24日（月）から30日（日）の間放送した。

・生活文字情報

文字スクロールによる生活情報で、毎週月・水・金曜日に12分間放送した。

（1日6回）

・エリア便

イベント等の告知情報で、毎週月・火・水曜日に1分前後放送した。

・新春特別番組「新年のご挨拶 栃木市」

10分番組で、1月1日（水）から5日（日）の間放送した。

イ とちぎテレビ

市政のPRを行うため、（株）とちぎテレビに番組制作を委託し、市長がまちづくりの抱負や行政運営、将来の展望について語った。

・新春特別番組「2014年 わが街発！」

30分番組のうち10分間で、1月1日（水）、3日（金）に放送した。

ウ 栃木放送（C R T）

市政のPRを行うため、（株）栃木放送に番組制作を委託し、市長がまちづくりの抱負や行政運営、将来の展望について語った。

・新春特別番組「新しい年を迎え栃木市長に聞く」

10分番組で、1月1日（水）、2日（木）に放送した。

エ エフエム栃木

本市のイメージアップや観光への誘客を図るために、市政のPR及び市内の各種行事等の情報を県内全域に発信する市の広報番組の製作を（株）エフエム栃木に委託した。

・「MY CITY とちぎFM」

生放送で、毎週月曜日に30分間放送した。

・新春特別番組「新春市長インタビュー」

10分番組で、1月7日（火）に放送した。

(6) 報道機関等への情報提供

ア 記者会見

・定例記者会見 毎月1回

・予算記者会見 年1回

・臨時記者会見 随時(2回)

※その他の報道機関へは、定例・臨時記者会見資料を随時提供

イ 市政情報の提供（F A Xにより随時）

・情報提供件数 462件

(7) 広報活動推進員による活動

各課で1名広報活動推進員を選任し、広報活動の円滑な事務を行うための研修を行った。

・実施日 7月26日（金）参加者95人（広報活動推進員、各課長）

・テーマ「新聞紙面で紹介したくなる行政情報とは何か」

・講師 朝日新聞社栃木支局長 平井隆昭記者

(8) 栃木市ふるさと大使

本市の魅力を広く効果的に情報発信することと、本市の知名度及びイメージの向上並びに市民の一体感及び郷土愛を醸成することを目的とした「栃木市ふるさと大使制度」を設け、栃木市にゆかりのある方に委嘱している。（平成24年度から任期2年）

栃木市ふるさと大使 8人（澤村拓一氏、春風亭柳橋氏、寺内崇幸氏、富田晋伍氏
山田五郎氏、山田昌彦氏、吉川真氏、渡辺俊介氏）
1団体（栃木ウーヴァFC）

2 広聴関係

(1) まちづくり懇談会ふれあいトーク

市長をはじめとする市執行部が、市民の市政に対する意見・提案等を直接聴くことにより、課題等を共有し、市政に反映することを目的に実施した。

また、市の重要施策を市長等から直接市民に説明することにより、事業の周知を図ることができた。

・栃木地域

実施日	出席者（人）	会場
8月 2日（金）	103	第6地区コミュニティセンター
8月 8日（木）	70	第4地区コミュニティセンター
8月 9日（金）	105	吹上公民館
8月19日（月）	79	第5地区コミュニティセンター
8月21日（水）	78	皆川公民館
8月23日（金）	81	国府公民館

・大平地域

実施日	出席者（人）	会場
7月25日（木）	73	大平南地区公民館
7月26日（金）	85	大平西地区公民館
8月 1日（木）	109	大平東地区公民館

・藤岡地域

実施日	出席者（人）	会場
10月 2日（水）	55	部屋地区公民館
10月 3日（木）	53	藤岡遊水池会館
10月 4日（金）	55	赤麻地区公民館
10月 7日（月）	52	三鴨地区公民館

・都賀地域

実施日	出席者（人）	会場
7月 2日（火）	51	合戦場小学校体育館
7月 9日（火）	43	家中小学校体育館
7月12日（金）	55	赤津小学校体育館

・西方地域

実施日	出席者（人）	会場
7月 11日（木）	70	西方総合文化体育館
7月 12日（金）	59	西方保健センター

7月17日(水)	55	真名子夢ホール
----------	----	---------

(2) 市民討議会

無作為に抽出した市民1,000人を対象に参加を促し、(一社)栃木青年会議所との共催により、とちぎ市民討議会2013を開催した。

- ・実施日 7月28日(日)
- ・場 所 市役所 正庁
- ・参加者 23人
- ・テーマ 「地域公共交通の利用促進について」
 - ①あなたの感じる「ふれあいバス」の良い点・悪い点
 - ②あなたの考える「ふれあいバス」の利用促進について

(3) 市長へのアイデア直通便

市民から、市政に対する幅広いアイデアや意見・提案等をうかがい、施策に反映させるとともに、市民との協働・共生のまちづくりに資するため、広報とちぎに料金受取人払いの「市長へのアイデア直通便」を掲載し、投書受付を実施した。

- ・受付通数 36通(提案件数 57件)

(4) 市政メール箱(電子メール)

インターネットを利用した広聴活動として、ホームページ内に電子メールによる投書窓口「市政メール箱」を設け、投書受付を実施した。

- ・投書件数 127件

(5) 投書箱

本庁及び各総合支所に投書箱を設置し、投書受付を実施した。

- ・投書件数 26件

(6) 市政に関する意見の郵送及びFAXの受付

- ・投書件数 28件

(7) 来庁やお電話による市政に関するご意見の受付

- ・ご意見数 27件

(8) パブリックコメント

重要な施策の策定の過程において、市民の市政に対する意見や提案の機会を確保するとともに、政策決定過程への市民の参画を促進し、市民との協働によるまちづくりの推進を図るため、パブリックコメント(市民意見提出制度)を実施した。

- ・実施件数 11件

3 マスコットキャラクター制定業務関係

(1) 選定委員会

栃木市マスコットキャラクター選定委員会要綱を制定し、11名の選定委員を委嘱した。

委員長	宇都宮大学教育学部	教授	陣内雄次	氏
副委員長	文星芸術大学	准教授	細田秀明	氏
委員	文星芸術大学	教授	ちばてつや	氏
委員	栃木市地区観光協会連絡協議会	副会長	片柳登	氏

委員	下野新聞社	栃木支局長	久保正洋	氏
委員	ケーブルテレビ（株）	代表取締役	高田光浩	氏
委員	（一社）栃木青年会議所	副理事長	小島圭介	氏
委員	栃木市民活動推進センター	くらら利用者協議会	小林桂子	氏
委員	大学生		大塚憲司	氏
委員	高校生		小暮真弥	氏
委員	高校生		西 清花	氏

(2) デザイン公募

9月20日（金）から11月30日（土）まで、全国にデザインを公募し、1,675点の作品の応募があった。

(3) 栃木市マスコットキャラクター選定委員会

第1回 8月6日（火）午後7時～

- ・委員長、副委員長の選出
- ・栃木市マスコットキャラクターの選定（概要）について
- ・栃木市マスコットキャラクター募集要項について

第2回 8月27日（火）午後7時～

- ・栃木市マスコットキャラクター募集要項について（確認）
- ・栃木市マスコットキャラクター募集チラシ（案）について

第3回 12月7日（土）午後1時～

- ・第1次選定
- ・第2次選定
- ・結果発表

第4回 1月29日（水）午後7時～

- ・小中学生によるアンケート調査の結果発表（事務局）
- ・最終選定

(4) 最優秀賞・優秀賞・ちばてつや賞

最優秀賞	とち介（とちすけ）	杉原 由希子	東京都練馬区
優秀賞	うずまる	渡部 遼	栃木市今泉町
優秀賞	くらのまちこちゃん	水越 茜	茨城県土浦市
優秀賞	うたまろん	越川 かえで	神奈川県逗子市
優秀賞	Mr. CLUTCH（ミスタークラッチ）	上島 弘祥	栃木市野中町
優秀賞	とちち	菊地 咲貴	東京都港区
ちばてつや賞	くらにゃん	梅山 侑暉	栃木市沼和田町
ちばてつや賞	ナマズンズン	小島 愛加	栃木市泉川町
ちばてつや賞	とっとくん	関 風輝	下都賀郡岩舟町

(5) 栃木市マスコットキャラクター発表

3月28日（金）栃木文化会館大ホールにてデザイン及び着ぐるみの発表と入賞者の表彰を行った。